

2015 年度後期 授業評価アンケート結果に対するコメント

—文学研究科—

文学研究科長 上野 英二

この種のアンケートがどれほど真を伝えるものか、疑問無しとしないが、集計結果からは、基本的には例年と同じ傾向が看取される。「総合的にこの授業を評価できる」の設問の平均値は 4.91 と昨年とほぼ同じで、非常に高い評価を受けている。「教員の話し方は明瞭であった」、「教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心掛けた」、「授業への教員の熱意を感じた」、「教員は発言・議論等授業参加を積極的に促した」といった設問が、4.8 以上の評価を受け、授業が円滑かつ活発に行われている様子がうかがえる。特に、「この分野の関心と学力が得られた」の評価が 4.82 に上がったことは喜ぶべきことか。